

せいしんがい報

2012年1月1日 第91号

注目記事

- ◆1ページ◆ 年頭のあいさつ
- ◆3ページ◆ 虹のかけはし再オープン

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

知的障がい者通働寮 レジデンスなごそ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 78-1336 ㊟(0246) 65-4160

ケアホーム・グループホーム
メゾン・ド・あたて、メゾン・ド・ほりきり、コーポあかおな

指定相談事業・地域生活相談室せんとらる
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5222

知的障がい者更生施設ふじみ更生園
ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

虹のかけはし
〒971-8101 福島県いわき市小名浜丹波沼61-1
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

手打ちうどん 天眞庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033

ヘルパーステーションあくていぶ
〒979-0145 福島県いわき市勿来町四沢清水17-1
☎(0246) 65-5700 ㊟(0246) 65-5700

児童デイサービスチャーむ・日中一時支援事業ウイズ
〒971-8166 福島県いわき市小名浜愛宕上13-23
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

明日に向かって 社会福祉法人誠心会 理事長 松崎 有一

多くの皆様にご支えていただき、新しい年を無事迎える事ができたことに感謝しながら今年も、一步一步あゆんでいきたいと思います。

考えてみると昨年は、大きな出来事があり大変な一年でした。世界ではタイで洪水被害。中東では、「アラブの春」で長期独裁政権の崩壊等色々な出来事がありました。

さらに、日本においては東日本大震災や震度6弱の地震が連続して起き、当法人経営の就労継続支援事業「虹のかけはし」の賃貸ビルが損壊し、別の場所に移転せざるを得ない状況が起きて、大変な苦労の連続でした。又、東京電力福島第一原発事故でいわき市は、風評被害で色々な産業に大きな影響がでたことで、復旧・復興に遅れを取り戻す作業がなかなか進まない状況が続きました。

障害福祉領域に目を移しますと、「つなぎ法」の一部施行、つまり障害者の範囲の見直し。さらに、地域にお

ける自立した生活支援の充実の一部施行。来年度には、利用者負担の見直し、相談支援の充実、障害児支援の強化が施行されます。

さらに、障害者総合福祉法(仮称)が、通常国会に上程される予定です。それらの目指すものは、①障害のない市民と平等と公平、②障害の種別間の谷間や制度の空白の解消、③どこに暮らしても一定水準の支援が受けられるように格差是正、④精神障害者が社会的入院を続け、知的や重複の障害者等が地域で支援不足による長期入所などの社会問題を解決、⑤本人のニーズにあった支援のサービスの決定、⑥安定した予算の確保、とされています。

このように、制度改革が本格化してきており、事業者は、舵取りが大変難しい時代の到来と考えております。

ここは、多くの方々のご指導を受けながら、職員一丸となり難局を乗り越えていきたいと思いますので、今年もよろしくお願いいたします。

おかげさまで新年を迎えることができました

昨年の東日本大震災の際には、地域の皆様をはじめとし多くの方々からのご支援・ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

本年も昨年同様、当施設の様々な事業運営に対しまして、ご協力をお願いいたします。

昨年は穏やかな新年を迎えたはずでしたが、3・11の観測史上最大の地震により一変し、多くの人が犠牲となり、更には、建物や道路等東北地方を中心に甚大な被害に見舞われました。その後、東京電力福島第一原発の事故があり、言葉では言い尽くすことの出来ないほどの大変な一年でありました。

当施設でも、建物被害があって居室が利用できなくなり、利用者の皆さんは体育館での避難生活をしたり、物流が止まり食料が入らず非常食でつないだり、ガソリンがなく職員の通勤にも困難をきたし、施設近くの空き家

救護施設やしおみ荘 施設長 上遠野 重行

を借りて対応していました。その他、原発事故の正しい情報が入らず、避難先の確保などの検討を余儀なくされました。その後は全国からの支援物資等も届き落ち着きを取り戻しつつあったところの、4・11と12の余震により追い打ちをかけられ、施設の各居室の一部が崩壊し集中避難をし、電気・水道・ガス等のライフラインが途絶えてしまいました。復旧するまでの間、利用者の皆さんには不自由な思いをさせてしまいましたが、けが人もなく難局を乗り越える事が出来ました。これも多くの皆様からの支援のおかげと改めてお礼申し上げます。

やしおみ荘では、高齢化が進み施設環境づくりが重要であると考えておりますので、安心・安全なサービス提供に取り組んでいきたいと思います。なお一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。